

基本理念

豊中市の中核病院として
「心温かな信頼される医療」
を提供します。

基本方針

1. 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざします。
2. 地域の中核病院として安全で質の高い医療を提供します。
3. 医療機関との連携を密にし、市民の健康を守るために努力します。
4. 高齢化社会に対応する医療を推進します。
5. 医療従事者の教育・研修の充実を図ります。

病院だより

TOYONAKA MUNICIPAL HOSPITAL NEWS

とよなか No.23

栄養管理はすべての治療法の基盤 — 栄養管理部の取り組み —

入院時には、食べることが難しかった患者さんでも、適切な栄養管理を積極的に行い、栄養がつくと見違えるように元気になり表情も良くなります。また、リハビリを行いADL（日常生活を送るための最低限の動作）が改善する方もおられます。栄養は、薬と同様に治療に大事な役目を持っているのです。

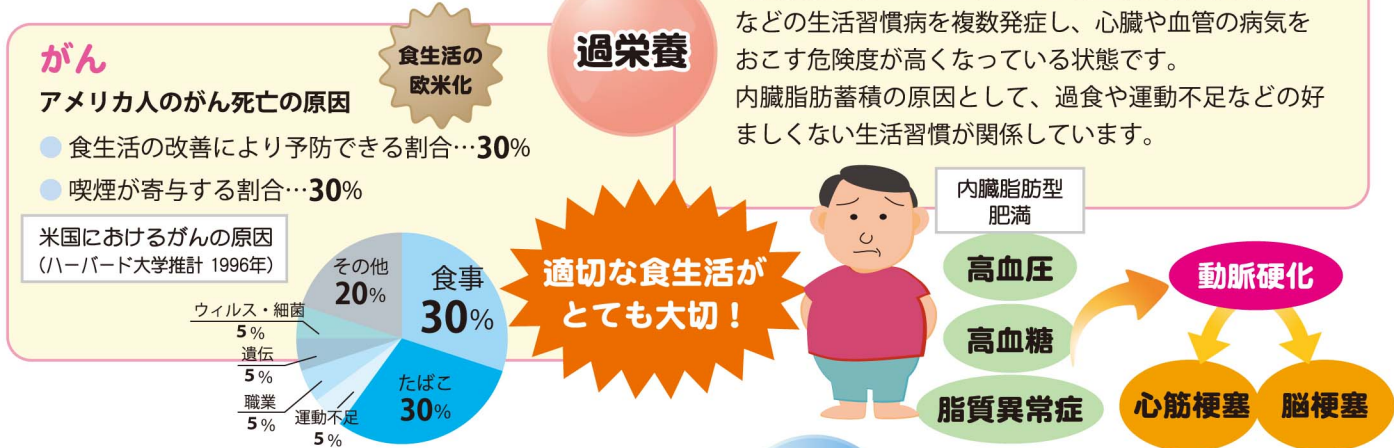


特別食「バレンタインメニュー」

● 病気と栄養の関係

現代人の栄養状態は、栄養過剰（過栄養）と栄養不良（低栄養）が混在する状況です。

- メタボリックシンドローム（過栄養）
- 拒食症・寝たきり患者（低栄養）
- 糖尿病患者（過栄養と低栄養）



近年虚弱で低栄養状態にある高齢患者さんが増加しています。

低栄養状態が続くと…

- 原疾患以外の合併症を発症しやすく、また、死亡率も高くなる
- 合併症の発症率3.4倍、死亡率3.8倍（栄養状態良好な人との比較）
- 入院日数も長くなり、医療費も増大する

● 栄養状態が不良であれば、いかなる治療も無効となる

重症な疾病の治療には栄養管理が不可欠

※褥瘡：床ずれ。体の一部に持続的に力がかかると毛細血管が圧迫され血流が乏しくなり、その部分の皮膚が壊死した状態になること。